

2025年度 第4回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2025年7月24日（木）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前9時30分

閉会時間 午前10時30分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	飯田 正巳
委員	升田 敏行
委員	鈴木 千佳
委員	島崎 栄子

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	永井 義久
	教育総務課長	川崎 智朗
	教育施設課長	谷口 祥規
	学校教育課長	寺坂 浩司
	学校教育課参事	吉谷 孝憲
	幼児育成課長補佐	細田 正徳
	教育総務課参事兼課長補佐	旭 和則
	教育総務課教育総務係長	足立 美由紀

事務局以外	こども支援課長	吉本 努
	文化・スポーツ振興課参事	福井 孝道

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

鈴木 千佳 委員

第2 前回の会議録の承認

6月26日（木）開催 第3回定例会

第3 教育長の報告

第4 観光文化部の報告

1 文化・スポーツ振興課

- (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第11回おんぷの祭典」実施報告について

第5 議事

- 議案第16号 豊岡市青少年補導委員の任命について
- 報告第10号 豊岡市フリースクール等民間施設運営について
- 報告第11号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 学校教育課

- (1) 生徒指導について
- (2) 夏季休業中の研修について

第7 こども未来部の報告

1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第8 委員活動報告

第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午前9時30分

(教育長)

ただ今から、2025年度第4回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は鈴木委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 会議録の承認についてです。6月26日に開催しました第3回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回6月26日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配布した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

7月14日の地区教育長会議について報告します。毎年この時期に行う、但馬3市2町の教育長と県教育委員会の幹部職員との協議の場です。県の藤原教育長からは、サポートルーム支援員配置事業と、フリースクールへ通う児童生徒の家庭への財政支援は、引き続き行いたいとのことでした。それから、学校における働き方改革、県教育長と市町の教育長の共同メッセージが発出されました。記載されているのは、働き方改革についての理解を、地域や保護者の皆様に求めるものであり、超勤時間が月80時間超えの教職員をゼロにすることを最優先とします。全ての教職員の超勤時間が45時間以内になることを目指す目標があり、「時間外では電話が留守番電話になります。」「学校行事・地域行事について考慮を願います。」などがあり、学校側からは発信しづらい内容をメッセージとして出しています。これをそれぞれの地域で発出してほしいとのことでした。

協議テーマは3点ありました。1つ目は、中学校の部活動の地域展開です。3市2町とも課題が多く先進事例はほとんどありません。県の教育長からは「国の支援も明確になっていないため、焦る必要はなく、地域にあった方策を考えてほしい」と話されました。特に豊岡は兵庫県内で最も広い市域であり、加えて中山間地域にあり、公共交通機関のアクセスも良いとはいえない。そのような課題がある中で、生徒数や部活動の環境も違います。したがって、公平性を期すことができない状況であるため、当面は部活動指導員を増やす方針をこの会議でも表明しており、ただ部活動指導員を増やすだけではなく、現在は先生が主となり、部活動指導員が補助をする形がほとんどであるため、部活指導員が教員のいない場合でも、主体的に部活動運営ができるようにと但馬3市2町で意思統一しました。

2つ目は、学力向上対策です。学力・学習状況調査の結果が公表されました。国、県、豊岡ほぼ同様の結果です。皆様には整理して後日報告したいと考えています。

3つ目は、公立高校の活性化と市町との連携です。高校教育改革第3次計画があったが、柱は3つであります。1つ目は、県立高校の魅力・特色づくり。2つ目は、望ましい規模と配置。圧倒的に生徒数が少なくなっているため大きな問題です。3つ目は、選抜方法の工夫と改善です。市政懇談会で出石に行った際、区長会から出石高校の存続をぜひお願いしたいと要望がありました。町の活性化を図るためと話がありましたが、そのような時代ではありません。子どもたちが学びたいことを学べる学校づくりを目指した結果で存続していくという選択肢も生まれる可能性があるということで町の活性化のために高校を残すということではありません。私は市政懇談会

ではそういう答弁をしましたが、今回県の方角も同様です。まずは県立学校が魅力ある特色づくりをするということ。専門性のある高校で例えば、日高高校や香住高校の海洋科学科、但馬農業高校はそのまま残し大切に扱うことが適切です。それに対し、普通科の特色があまり出ていません。豊岡高校がSTEAM学科になり、今年、豊岡高校の校長から授業を見学していただきたいと依頼が初めてありました。そのような連携はする必要があります。望ましい規模は定員割れしているため、学級数が少なくなった場合、教職員定数が減らされる。すると高校の教科で、例えば理科系であれば物理の先生はいるが、生物の先生はいない状況に陥ってしまう。何がなんでも存続を目指すとなると、そのような状況になり子どもにとっては良くない環境となってしまう。非常勤講師が学校を回るなど工夫はあるが、生徒数の減少に対し配置をどうするかについて今後も議論したいと考えています。3つ目は、選抜方法です。連携校方式というものがあり、先にパーセントを決め、その高校の連携校外からは何パーセントしか入れないというものです。しかし、この制度は学びたいことを学べる学校を自分たちが選ぼうといったベクトルとは反対であり、このような制度をいつまで続けるかという話である。これまではパーセントを変更するなどの対応をしてきたが、いよいよ制度そのものに手をつけなくてはならない時期に来ているとそのような話し合いをしました。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

学力等については後日情報提供をいたします。

【日程 第4 観光文化部の報告】

(教育長)

日程第4 観光文化部の報告に移ります。文化・スポーツ振興課 (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第11回おんぶの祭典」実施報告について、文化・スポーツ振興課参事の説明をお願いします。

1 文化・スポーツ振興課

(1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第11回おんぶの祭典」実施報告について

《文化・スポーツ振興課参事の説明概要》

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第11回おんぶの祭典」実施報告について、資料に基づき説明する。

開催期間は、5月25日(日)から6月1日(日)までの8日間であった。会場は、市内小学校4校、幼稚園1園、認定こども園2園。学校園以外では市民会館他9か所で実施した。内容は、学校訪問コンサートや園訪問コンサートなど合計33企画を実施した。出演者は、計26名である。音楽祭の名称にもある通り世界と触れあう音楽祭としており、世界で活躍される方々を招待し、中には

豊岡市出身の方も数人いた。参加者総数は、3,150人、うち高校生以下は1,148人である。参加者総数の約36%、3分の1強が子どもたちである。子どもたちや先生の感想の一部を抜粋して紹介すると、児童、生徒からは「中学校で吹奏楽部に入りたくなった」「生で聞く演奏とCDやスマホで聞く音と全然違う。また聞きたい」「ピアノを間近で見ると、音を鳴らすたびにハンマーが飛び上がっていて、ピアノに興味があった」というものであった。先生方からは「音楽の世界に引き込まれ、音楽の力はすごいと感じた」「子どもたちが間近でプロの演奏を聴けて貴重な経験ができた」「素晴らしい音楽に触れて、心を豊かにするいい時間になった」など感想がある。

クラシック音楽は子どもたちに馴染みがなく、音楽の授業で聞いたことがある程度であったが、「興味をもった」「もう一度聴きたい」など前向きな感想が多く、クラシック音楽に親しむきっかけになったと考える。園訪問では、コンサート直前に誕生日会が実施されていたため、コンサートの中で誕生日にちなんだ曲をサプライズ演奏していただくなど、演奏家が訪問先の状況に合わせて子どもたちが喜ぶようアレンジされるなど工夫していただき、子どもたちが印象に残りやすいコンサートになったと考えている。

コンサート以外では、プロの演奏家がアドバイスをを行う「楽器ワンポイントレッスン」が実施された。演奏家から直接指導を受けられることもあり今年も好評であった。すぐに予約も定員に達した。ピアノ・管楽器は、学校で演奏していたり教室で習っていたりするお子さんも多いため人気があった。弦楽器のレッスン日を設けていたが、市内に弦楽器の教室がないなど子どもたちが弦楽器を演奏する機会が少ないこともあり、申し込みがなかったため、弦楽器のレッスン予定日は、管楽器のレッスンに変更し、より多くの子どもたちにプロのアドバイスを受ける機会を提供した。

最後に課題である。来年度からは市民会館が長期休館になる。ファイナルコンサートやキッズコンサートなど、一部の企画は市民会館で実施していたが、これらの企画を来年度どのように開催するのか、代替ホールでのコンサートにするのか、その他の企画を増やすかなど選択肢があるため、来年度に向けて検討する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。

議案第16号は、人事に関する事案となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17号により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、議案第 16 号は非公開といたします。傍聴いただいている方は申し訳ありませんが、非公開議案が終了するまでご退席をお願いします。

○ 議案第16号 豊岡市青少年補導委員の任命について

《 豊岡市青少年補導委員の任命について、教育総務課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。非公開議案は終了しましたので、退席いただいていた傍聴の方は入室ください。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第 10 号 豊岡市フリースクール等民間施設運営支援補助金交付要綱の制定について、学校教育課参事の説明をお願いします。

○ 報告第10号 豊岡市フリースクール等民間施設運営支援補助金交付要綱の制定について

《 学校教育課参事の説明概要 》

豊岡市フリースクール等民間施設運営支援補助金交付要綱の制定について、資料に基づき説明する。

5 月の定例会で、フリースクールの利用者に対する料金の要綱制定について説明したが、今回は、施設の運営事業者に対する補助金である。交付要綱にて、第 3 条にて交付金の対象となる施設を規定している。第 4 条にて補助金の対象経費を別表に定めるとしている。第 5 条にて補助金額を補助メニューごとに補助率の 2 分の 1 と定めている。

別表に第 4 条関連として表を記載している。補助対象経費や補助金の上限額を定めた表である。児童生徒数により 60～70 万の 3 段階で補助限度額を設定している。補助メニューがあり、1 つ目に配置職員の充実、2 つ目に活動の充実と定めており、活動の充実とは、教材・教具の整備、体験学習・実習費、施設の借上料とする 3 つの補助メニューとしている。補助メニューごとに補助限度額を定めており、合計額 70 万円が 1 施設当たりの補助金の上限額となる。前回説明した利用者補助については、兵庫県の補助事業を活用しているが、運営事業者の補助は市単独の事業である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

冒頭の教育長報告でも話しましたが、これはとても評価されているため、県は財政支援しておらず、市の主体的な事業であり、皆さんにも知っていただきたいと思います。一般質問では、額

が少なすぎるのではないかと意見も出ましたが、今私たちができることを精一杯行うためご理解ください。

(教育長)

それでは、報告第 10 号 豊岡市フリースクール等民間施設運営支援補助金交付要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第11号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第11号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体 2 件、個人 1 件、合計 3 件の寄附申出があり、これを受納したため報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第 6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第 6 教育委員会事務局の報告に移ります。学校教育課 (1)生徒指導について、学校教育課長の説明をお願いします。

1 学校教育課

(1) 生徒指導について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

新規推移は 6 月末時点での累計人数です。2023 年の 6 月では新規者が 16 人でした。昨年 4 月からサポートルーム支援員配置事業を開始し、9 人に減り今年は 4 人となりとてもうれしいことであり、サポートルームの運営を大切にしていきたいと思います。職員数が増えれば良いが、人がいない問題があるため、教育委員の皆さんからも推薦していただきたく思います。

(教育長)

続きまして、(2) 夏季休業中の研修について、学校教育課長の説明をお願いします。

(2) 夏季休業中の研修について

《学校教育課長の説明概要》

夏季休業中の研修について、資料に基づき説明する。

2025年度夏季休業中の研修予定を資料に一覧として掲載している。8月4日（月）の豊岡市教育フォーラムは既に案内した通りである。その他に検討委員会、研修会等を実施するため、希望があれば連絡いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

資料に載っていませんが、但東町で水口先生が講演会をされる会は別でしょうか。

(教育長)

主管は別になります。

(升田委員)

8月17日（日）に行います。東井義雄記念館と東井義雄顕彰会『白もくれんの会』の2つで主催しており、毎年行われる講演会です。今年は地元の方々に実践発表をしていただけたらと思います。1つは教科書に掲載しているため、合橋小学校の水口先生は昨年小学4年生を担当された先生です。東井先生がされた実践を子どもたちに行い、発表していただきます。

もう1人は、但馬信用金庫の人事部次長で、東井先生の言葉が自分に刺さり、人事活動や職員研修の中に東井先生の考え方、人に対する思いやりについてこれまで行ってきたと話す中で、実際に発表していただくことになりました。教育長にもお話いただきます。

(教育長)

講演会は8月17日（日）の午後から但東市民センターホールで開催します。

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第7 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 こども未来部からの報告に移ります。こども支援 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援課長の説明をお願いします。

1 こども支援課

(1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援課長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、開所日数 21 日、実通所人数 20 人、1 日平均 6.0 人である。

6 月の第 1 週は、トライやるウィークが実施され、2 名のうち 1 名が 1 日は病欠であったが、4 日間こども園で参加できたと報告がある。

先日中間考査が行われ、中学生 8 名が受験した。内訳は、サポートルームで 6 名、教室で 1 名、ふれあいルームで 1 名が受験できた。うち 3 名は 9 科目受験できた。その他教室で 2 科目、サポートルームで 5 科目、合計 7 科目受験できた子もあり、5 科目と美術を受けた子もいる。少なくとも 2 科目受験できた子が 2 名いた。自分でできる無理のない範囲で受験することが当然のようになっていると思い、受験方法等についても在籍校と連携しながら行う状況である。どうしてもルームの利用頻度や、内容が個々の状況に応じて多様化しているため、家庭や学校と連携しながら子どもの居場所として機能を高めたい。

期末考査の受験がなぜ増えたかについて議論しており、2 年前は受験することは話題にもならなかったが、昨年は中学 3 年が多かったこともあり、中学 3 年がそれぞれの部分で周りの方から受験や勉強のイメージがついてきたこともあり、それぞれの状況に合わせ受験することが当然となってきた雰囲気があった。物理的に話すと、2022 年 11 月に移転した時、1 日平均が 3.2 人のところ、2024 年は 10.1 人と 3 倍に増えた。物理的に増えたこともあるが、プラスアルファで先生たちの努力もあり高校受験に向けて、ふれあいルームで今までは自習スタイルであったが、授業スタイルとして英語、数学を行い、もう 1 つは自習グループとし、グループ分けを行い教室形式にした。これが受験やテストを受けてみようという意思に繋がったと考えている。それを含め、2025 年度も学校に 1 回登校したときの抵抗を和らげ、学校とのつながりを意識させる利点もあり、同じような授業スタイルを継続している。加えて、2025 年度は個々の状況を把握しながら、在籍学年の学習内容に応じて対応するようにしている。こうしたことから、テストを受けてみようという意思に繋がったと分析している。

特別支援の取組状況は、小学校から 7 件相談依頼があり、検査希望は 4 件。7 件のうち 4 件が小学 1 年である。その他 5 歳児発達相談からの継続相談は 22 件あり、必要に応じて学校と連携し行う形である。

放課後児童クラブの研修を、心理士が講師を務めて継続的に行っており、参加者からは「子どもの理解に繋がった」と評価をいただいている。発達関係では、1 学期の個別懇談が終わり夏休みに入ったこともあり、個別懇談を受け様々な形で学校から相談の依頼が増えている。これらについても様々な形で対応したいと考えている。

家庭児童相談の取組状況は、6 月の児童虐待通告はなかった。家庭相談員の対応件数は 913 件である。訪問回数は 72 回である。

4 月にこどもセンターを設置し、母子保健と児童福祉について方向性を議論しながら進める方針である。

8 月 8 日（金）にこども支援センターを中心とした講演会を開催する。今回は愛着障害の関係で著名な和歌山大学の米澤先生にご講演いただく。非常に忙しくされていることもあり、豊岡に

来ていただくことは難しいため、今回初めてオンラインで講演会を開催する。参加希望があれば、お聞きいただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第8 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第8 委員活動報告に移ります。活動で感じられたことで、伝えたいことがありましたら、お願いします。

(鈴木委員)

今年初めての学校訪問で合橋認定こども園に行かせていただきました。先生方皆さん表情が穏やかで、笑顔があふれていたところが私はとても印象的でした。園長先生を中心にとってもよい職場作りができていると感じました。その先生方のもとで子どもたちも穏やかに安心して過ごしている様子を見させていただきました。とても自然にあふれており、よい認定こども園だと思います。ただ、園舎や遊具を見させていただいた中で、修繕が必要などころが多々ありました。これからあり方計画もあり、予算も限られていると思いますが、善処していただきたいと思います。

園小接続の件について、合橋小学校が目指す子ども像と、合橋認定こども園が目指す子ども像が一緒にあったほうが良いと感じます。昨年合橋小学校と同じ校区の小学校、中学校を見せていただいて、同様の課題が見受けられると感じました。近くの地域に園、小、中学校があるため、先生方と連携をとっていただきたいと思います。

(飯田委員)

私も7月1日、9日に訪問に行きました。1日は鈴木委員と共に合橋認定こども園に行ってきました。合橋認定こども園は子どもたちが様々な体験ができる、自然と触れ合えるよい環境だなと思いました。ただ、クマ対策が必要かなと少し思います。子どもたちが学び合い、遊ぶ環境には最高だと思っています。子どもたちも非常に安定しており、落ち着いている印象でした。9日に港中学校に行ったときも、生徒たちはとても落ち着いていて、人数は少ないのですが、先生方の取組がすごいと思いました。

6日に神社のお祭りがあり、兼ねてより相撲奉納をするか話がありました。昨年からコロナ禍の後復活し始め、みんなで取り組もうとなりましたが、コロナの影響なのか、参加する児童が少ない。それでも学校の先生が来てくれて激励してもらうことで子どもたちも満足していました。子どもは何でも体験させないと分からない、「ダメ」というだけではイヤイヤ感の方が先に出てしまいます。「やってみて楽しかった」「負けたから悔しい」ということが次に生きる環境を作ることが地域の力であり、周りの力だと思います。今年でコロナが終わり2年目ですが上手くでき

たため、こういうことは親が「うちの子は」と遠慮されますが、むしろ子どもたちが会話の中で、「〇〇ちゃん出ようや」という声が広がるのが大事だと思い、聞いていました。復活してよかったと思います。

(升田委員)

私も園と小学校の訪問に行きました。どちらも島崎委員と一緒でした。先ほど鈴木委員が話されたように、先生たちが明るくて、その接し方が子どもたちにしっかり反映されていると安心して見ておりました。港認定こども園ではプールが設営されており、毎日の水替えや水温調整が必要との話があり管理が大変だなと感じました。先に大きい組の子が入っていたのですが、そこに小さい組の子がやってきて、大きい組の子がうまく入れるよう上手にそっと代わった様子があり、普段の生活の中でもこんな風に子どもたち同士で自然にこんな動きができるのは、日頃の先生達の指導によるものだろうと感心していました。府中小学校の授業も見せていただき、一人ひとりの子ども達をよく見て指導されていると思います。たまたま、私の小学校3年の時の教え子が先生になっておられて、今日のように明るく頑張って、と話をさせてもらいました。

7月19日に、校区一斉のラジオ体操がありました。自宅の前が小学校ですので、参加してきました。子ども達、保護者の方、お年寄り、大勢の方が参加されていました。中学生が少ないと感じましたが、無理に参加は難しいかと思いました。周りの住宅に配慮があったのか、上手に音量調整され、実施されていました。当該学校の校長先生以下7～8名の先生方も参加されていました。

先ほど、東井義雄記念館の話をさせていただきました。教科書に出て以来、訪問者が増加したと思います。先日、鳥取の建設会社に1時間程度お話をさせていただきました。会社の安全大会の中での話ということでした。安全大会というのは、6月から7月にかけて毎年開催されているもので、特に近年異常な暑さの中で熱中症対策が重要になり、アイスクリームを用意するか、休憩時間をしっかり取る等、社員の皆さんの安心安全を図り、安全な職場づくりを推進し確認する会です。東井先生は子ども達を中心に据えた教育を推進されたのですが、その教えや実績が、会社の社長や管理者の方々の人を大切にする、人の命を大切にするという観点に通じるということでした。社員の皆さんと共に、100年続く会社になりたいという思いの中で、子どもたちと東井先生の関わりを話してもらいたいというご依頼でした。今後とも、このようなご依頼に応えたいと考えています。教科書に採用されている東井先生です。教育委員としての活動とは異なるかもしれませんが、豊岡市内の各学校にもご利用希望があればどこでも参りますので、お願いしておきます。

(島崎委員)

私も、先ほど升田委員と同じく、7月8日に港認定こども園、7月10日に府中小学校へ行かせていただきました。港認定こども園は、名称は変わりましたが、私の出身校で非常に田舎の自然豊かなところがありますが、その特性を生かした指導や教育を大事にされておりとてもうれしかったです。今はクマや熱中症のこともあり、外で活動できない状況ですと仰っていましたが、地域ともしっかりと連携され、その場所にある特性を生かした教育を目指されている点がとても良いと感じました。府中小学校は、難しい生徒さんが多く大変そうだと感じました。私自身まだまだ勉強させていただいているところですが、補助の先生が必ず入られており、手厚いと思った次

第です。しかし、それでもカバーできない部分もあり先生方はとても苦勞されていると感じました。どちらの学校も、園長さんや校長先生の方針が大切なのだと見て感じたところです。

別の話ですが、鈴木委員と演劇ワークショップに行かせていただき、こちらにも初めて見学させていただき、講師の方が非常に素晴らしいと印象を受けました。発表する発言するなど、動く、声が出せることがすべてではないと思いますが、何かこのようなことをきっかけに自分を表現することが子どもに伝わればいいなと感じました。講師の方がよく生徒さんを見られており、いいなと思えたため、報告しました。

【日程 第9 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第9 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第5回定例教育委員会会議は、8月18日(月)午後2時00分から、日高庁舎2階 会議室2-1で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、8月18日(月)午後2時00分から、日高庁舎2階 会議室2-1で開催します。

これをもちまして、第4回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前10時30分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2025年7月24日

教育長

委員